

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市整備課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備				
分野別方針	(3) 地域交通の充実		実施計画事業	1) 地域公共交通計画推進事業 (No.67)				
予算等事業名	コミュニティバス運行事業							
目的	路線バス・コミュニティバスの再編・見直しや新たな乗合交通の導入可能性を検討し、日常生活の移動手段が確保されている環境づくりを進めます。							
内容	公共交通空白地域・不便地域の解消を目的に、全ての町民が利用しやすいコミュニティバスを運行する。							
根拠法令・条例等								
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績	通年でコミュニティバスを運行委託した。(12月以降に路線変更を実施)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	乗車人員				
前期(27年度)目標値	100人/日			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:	二宮町地域公共交通活性化協議会でのコミュニティバス運行継続の目安として100人/日を掲げ、それ以下である場合は、デマンドタクシーへの切り替えを検討することになっている。				
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	53.1人/日				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		13,271	13,014				
財源内訳	一般財源	13,271	13,014				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 誰もが住みやすい町づくりを進めるためには、公共交通空白地域・不便地域の解消を目的として実施する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 バスの運行は専門的であることから委託することが必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	C
	【説明】 年度下の4か月目標値の50%程度の乗車数であることから、成果があがっているとは言い難い。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 町広報紙やホームページ等を活用し、費用をかけずに周知しているものの成果に繋がっていないため、違う方法も活用して周知する必要がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 25年度12月以降に路線変更を実施したことにより、その実態が行き届いていない可能性もあることから、成果があがっていない。公共交通空白・不便地域の解消を目的とするためには事業の継続は必要であるが、周知方法(学校への周知、沿道周知等)について検討及び実行を進め改善する余地がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	二宮町地域公共交通活性化協議会で更なる協議を進める。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	昨年、12月より路線及び利用料金について再編を実施したため、実績が不確定の部分もあり、住民周知を徹底しながら継続的な実施をしていく。		
今後の方向性	昨年、12月より路線及び利用料金について再編を実施した。今後も住民周知を徹底するとともにコミュニティバス路線となる地域との協議を進め、廃止も含め今後のあり方を検討していきたい。		